


タイトル	【モーター交換】MGZモーター⇒VCモーター		
説明	MGZモーターからVCモーターへの交換手順です。		
使用工具	プラスドライバー、モンキーレンチ、ウォーターポンププライヤー、六角レンチ、スナッピングプライヤー（穴用）、絶縁テープ、（マイナスドライバー、パール、プラスチックハンマー）		
作業人数	1人	所要時間 20～30分	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 作業を始める前に必ず、MC、コンベヤの電源を切り、コンベヤが完全停止していることを確認してください。重大な事故につながる可能性があります。 作業に適した格好で行ってください。また、保護帽・保護眼鏡・保護手袋・安全靴を必ず着用してください。 不明な点は、弊社までお問い合わせください。（TEL：076-274-1188） 		

STEP	作業内容	使用工具	注意事項																																			
1	 <p>端子台のフタを外す</p>	プラスドライバー																																				
2	<p>a接点またはb接点のどちらが使用されているか確認する</p> <table border="1" data-bbox="236 929 577 1064"> <thead> <tr> <th></th> <th>L1</th> <th>L2</th> <th>L3</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スクレーパーコンベヤ a接点</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>b接点</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>フローコンベヤ a接点</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b接点</td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>配線を外す前に、a接点なのかb接点なのかを確認してください。VCモーターを配線する際に必要になります。</p> <p>例) フローコンベヤで、L1、L2に配線されている場合は、a接点です。</p>		L1	L2	L3	R1	R2	R3	スクレーパーコンベヤ a接点				●	●		b接点				●		●	フローコンベヤ a接点	●	●					b接点	●		●					
	L1	L2	L3	R1	R2	R3																																
スクレーパーコンベヤ a接点				●	●																																	
b接点				●		●																																
フローコンベヤ a接点	●	●																																				
b接点	●		●																																			
3	 <p>MGZモーターの配線を外す</p>	プラスドライバー	<ul style="list-style-type: none"> 過負荷検知用の信号線がそれぞれL1~L3、R1~R3のどこに繋がっていたか、モーターの動力線がどこに繋がっていたかを控えてください。モーター交換後の配線時に必要になります。 																																			
4	 <p>VCモーター配線時に未使用になる配線に絶縁テープを巻く</p> <p>■フローコンベヤの場合 MGZモーターでR1~3へ配線が接続されていた場合は未使用になりますので絶縁テープを巻いてください。また、b接点を使用している場合は、制御盤（中継BOX含む）側の端子台にて短絡が必要になります。</p> <p>■スクレーパーコンベヤの場合 MGZモーターでL1~3へ配線が接続されていた場合は未使用になりますので絶縁テープを巻いてください。また、b接点を使用している場合は、制御盤（中継BOX含む）側の端子台にて短絡が必要になります。</p>	絶縁テープ																																				

5		<p>配線のケーブルを外す</p>	<p>モンキーレンチ、 ウォーターポンプブ ライヤー</p>	<p>・外した配線は、クーラント液等が付着しないように、絶縁テープを巻きなどの対策をしてください。絶縁テープを巻く場合は、STEP4で巻いた絶縁テープと区別がつくように巻いてください。</p>
6		<p>キャップを外す</p> <p>はめ込んであるだけなので、マイナスドライバー等でこじって外してください。</p>	<p>マイナスドライバー</p>	
7		<p>ボルトとスペーサーを外す</p>	<p>六角レンチ</p>	
8		<p>MGZモーターを外す</p> <p>モーターが上手く外れない場合は、安全カバーを取外し、ボールを使ってモーターを外してください。</p>	<p>六角レンチ、 (ボール)</p>	
9		<p>カバーを固定しているキャップスクリューを付属の皿ボルトとワッシャーに交換する</p>	<p>六角レンチ</p>	<p>・交換しないとボルトが干渉してVCモーターが取り付けません。</p>
10		<p>VCモーターにトルクアームを取付ける</p>	<p>六角レンチ</p>	
11		<p>VCモーターを取付ける</p> <p>途中、固くなってきたらプラスチックハンマーで軽く叩いて取付けてください。</p>	<p>(プラスチックハンマー)</p>	<p>・モーターは重いので、落とさないように注意してください。</p> <p>・プラスチックハンマーで軽く叩く場合は、シール部を破損させないように、動画にある軸の差し込み部を叩いてください。鉄ハンマー等の固いもので叩くと破損、変形に繋がるため使用しないでください。</p> 

12		<p>スナップリングを取付ける</p> <p>NGZモーターに使用していたものを再使用しても構いません。</p>	スナップリングブライヤー（穴用）	
13		<p>ボルトにスペーサーを付け、VCモーターの軸の中心に取り付ける</p> <p>MGZモーターに使用していたものを再使用しても構いません。</p>	六角レンチ	
14		<p>クッションリテーナーを取付ける（上下4つ）</p>	六角レンチ	<p>・クッションリテーナーには、ゴムワッシャ（黒）→ウレタンクッション（黄）の順で取付けてください。</p>
15		<p>キャップを取付ける</p>	プラスドライバー	
16		<p>配線のケーブルを端子箱に取り付ける</p>	モンキーレンチ、ウォーターポンプブライヤー	
17		<p>STEP2 で外した配線をVCモーターに接続する</p> <p>■フローコンベヤの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・a接点の場合：MGZモーターでL1、L2に接続されていた配線を95/c、98/aに接続してください。 ・b接点の場合：MGZモーターでL1、L3に接続されていた配線を95/c、96/bに接続してください。 <p>■スクレーパーコンベヤの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・a接点の場合：MGZモーターでR1、R2に接続されていた配線を95/c、98/aに接続してください。 ・b接点の場合：MGZモーターでR1、R3に接続されていた配線を95/c、96/bに接続してください。 	プラスドライバー	<p>・フローコンベヤは正相、スクレーパーコンベヤは逆相で接続してください。MGZモーターとは回転方向が逆になりますので注意してください。</p> <p>・コンベヤが逆転した場合は、コンベヤの電源を切り、UとWに繋いでいる線を入れ替えてください。</p> <p>・端子台のU、V、Wがそれぞれ2個あります。繋ぎ間違えることがないように注意してください。</p> <p>・異電圧仕様、インバーター仕様の場合：U、V、WとL、Nの接続線は不要ですので、取り外してください。（最初から外されている場合もあります。）</p> <p>※プロテクトリレー用の専用制御電源が必要になります。L・N端子にAC100~240Vの専用電源を供給してください。</p> <p>※ジャンパ線が配線されている端子台のL、NとU、Vのビスは、共にM3.5を使用していますが、ネジの長さが違うため、専用制御電源を配線する時は、端子のビスを間違えて使用しないように注意してください。端子台が破損する恐れがあります。</p> <p>※制御電源印加中は過負荷検知の異常信号が保持されますので、保持を解除する場合は3秒以上制御電源を遮断してください。</p>

18	<p>フタを取付ける</p>  <p>アース端子台がケーブル引き込み口側になるようにフタを取付ける</p> <p>アース端子台</p> <p>ケーブル引き込み口側</p>	<p>プラスドライバー</p> <ul style="list-style-type: none">・アース端子台がケーブル引き込み口側になるようにフタを取付けてください。間違った方向で取付けた場合、アース端子台が基盤に接触して破損する恐れがあります。・過負荷検知時に正転・逆転を瞬時に行うような制御になっている場合：正・逆の切り替え時間は2秒以上確保するようにしてください。基盤内の電源がなくなるまで保持がかかっています。（この時間が短いと、回転方向切替えにて過電流を検出し、異常と判断してしまいます。）
----	--	--